＜BYOD 授業スタート！＞

今年度の入学生からは新学習指導要領が始まり、国の GIGA スクール構想の一環で、新入生は全員一人一台端末を準備（＝BYOD）することになりました。新入生は既に中学校で GIGA スクールの授業を受けていますが、本校の先生方は昨年度から研修を行っていますが、先週６月２日（木）再度研修会を行い、使用法指導法について勉強をしました。

６月７日（火）１年生の「音楽」では BYOD の基本的な活用の授業を行っていました。

最初の挨拶を当番になっている生徒のピアノで行います。行事の修礼と同じ要領です。ぴりりと集中が漂っていいですね。又、発声練習の後、校歌を歌います。コロナ禍でなかなか歌う機会が無く、貴重な校歌斉唱の時間です。

まずはクラスルームを使って音楽の授業のクラスに入り、課題を確認します。そのあたりは、中学校までの学習で慣れているのか、生徒はサクサクやっちゃいます。

本日のテーマは「翼をください」。赤い鳥というグループが歌っていた 40 年前の歌です。教科書で取り上げられていますが、何故こんなにも長い期間歌われ続けているのか？その秘密を探るというのがテーマになります。最初トラブルでモニターの音が聞こえませんでしたが、生徒がそれぞれの端末で YouTube で曲を聴きました。回線の混雑は特になし。

曲を聞いて自分の感想を記入するのが課題の一つ目。合唱の曲としては静かな歌のイメージだったが、バンドの曲を聴くとテンポがあって軽快だと感じた等の感想がありました。その後、グループ別に分かれそれぞれの感想を共有し合い、そこで発見したことをさらに記入して課題の二つ目。最後に先生に課題を提出送信します。先生側では提出した生徒の一覧を確認できます。

端末を忘れた生徒や充電し忘れて電源が入らず使えない生徒が若干いましたが、クラウドシステムだと家に帰ってから端末を開けば課題がそのまま残っており、いつでも授業でやったことを思い出し、やり直すことができます。授業を振り返り、反省点を次の授業に活かしていくことも容易です。学校の授業と家庭学習を繋ぐ、便利なツールとなりそうです。どんどん活用して学びの姿勢をレベルアップしていきましょう！